



志・感動・笑顔 3つの「あ」を大事に
 ～あきらめない ありがとう あいさつ～

榎岡小学校だより No. 10
 令和6年1月22日(月)
 【文責:校長 井上敏春】

たてやま

榎岡小 Web ページ
 QRコードから
 バックナンバーも
 ご覧ください。



1/20～二十四節気「大寒 (だいかん)」冷気が一層極まり、一年で最も寒さが厳しい時期。

「今、この一瞬を 大事に生きる」



令和6年1月1日(月)「辰年」を迎え、十二支の中で、ただ一つの想像上の動物、縁起がよく、勢いもあり、また「龍(竜)」の字には「ワニ」という力強い動物の意味もあってこの字を当てたとも言われます。そんな年の最初の朝会は、「子供たちと明るく、希望のもてるような話、『大谷翔平選手のグローブ』が届くはずだから、自分自身の将来を想像して、思い描く「夢」に向かって突き進もう！そんな話をしよう…」とっていました。

ところがこの日の夕方。あってはならない「まさか」の大惨事『能登半島地震』が起きてしまいました。2011年の『東日本大震災』は、6年生であっても既に生まれる前の出来事です。お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、突然にご家族を失い、家を失った悲しみ、苦しみ、そして、今なお寒さの中で不自由な避難所生活を送る方々の思いに寄り添うことは、自分で経験しなければ、なかなか難しいものです。



さらにその翌日2日(火)の夕方。今度は「羽田空港」で、これまた「まさか」の空港滑走路上で『飛行機衝突事故』が起きました。こちらは事故自体が起こるはずがない大惨事なのに、日航機の400人近い乗員が奇跡的に全員無事でした。そのことを世界中が“奇跡”と絶賛しました。残念ながらお亡くなりになられた海上保安庁の職員の皆様には、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和6年1月9日(火)新年初の朝会では、この内容に触れる校長講話を行いました。結果的に15分間ほどの時間を使い、子供たちにはかなり難しい内容かと思いましたが、しかし、1年生から6年生までの子供たちは姿勢を崩したり、視線を外したりすることもほとんどなく、実に真剣に考えながら、話を聞いていました。命の重さや尊さは誰もが疑うことなく理解しているはずなのに、失って初めてその重さを実感するものです。本当は、今、こうして生きる何気ない日常の有難さこそが何よりの「幸せ」である。だからこそ『今、この一瞬を大事に生きる』ということを話しました。以下に、4年生のある学級のお友達の振り返り(一部を抜粋・要約)を載せます。

私は「今この一瞬を大事に生きる」という言葉が心に残りました。何かの一瞬の出来事でだれかを失うことはとてもこわいと思ったからです。飛行機事故で乗客全員が助かったのは、本当に奇跡だと思いました。楽しく元気にこの1年を過ごせるようにがんばりたいと思いました。

[4年 菅井華楓さん]

今、日本では「あたり前」ができずに困っている人たちがいることを知って、この「あたり前」を大切にしたいと思いました。キャビンアテンダントさんの判断は、小学校の学習が繋がっていると知って、今の学習をきちんとやって、とっさの判断ができる人になりたいと思いました。[4年 荒木和人さん]

飛行機事故でキャビンアテンダントさんが飛行機の中の人を支え、訓練をもとに全員を無事に助けてすばらしいと思いました。「考えて判断する」ことはとても大切だと思いました。今年は「考えて・決めて・行動する」ことを心がけていきたいです。

[4年 田中柊朔さん]

私もみんなも、今、幸せにしているけれど、避難している人は、幸せに暮らすことはできていないので「あたり前」はとても「幸せ」なのだ分かりました。飛行機事故でも、全員が生きて出られたのは、キャビンアテンダントさんが訓練を真剣にやっていたからと思いました。[4年 黒沼伊央さん]

飛行機事故で全員の命を救ったことは、奇跡だと思いました。キャビンアテンダントさんたちは榎小のスローガンを火の中で完璧に実行していたから救えたことを知り、このスローガンの大切さや必要性を感じました。今まで以上に「気付き・考え・行動」しようと思いました。[4年 森 纈奈さん]

大谷翔平選手からのグローブ贈呈式 一人一人の可能性は無限大!!

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお喜び申し上げます。
ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私は、このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブを寄贈させていただけることに感謝いたします。

貴校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平



1月10日(水) ついにビッグ・プレゼントが届きました。翌日11日(木)に早速、全校集会を開きました。届いた未開封のままの箱をスポーツ委員会代表児童に贈呈し、ステージ上で直接児童が開封した後、左上のメッセージを読み上げました。その後、始球式を行い、翌日には全校児童の一人一人がグローブを手にして、大谷選手の思い・願いに触れました。自分の「志」を強くもち、豊かな人生を歩むことの大事さが一人一人に伝わったことと思います。「グローブは「ガラスケース」に入れるの?」との声もありますが、「子供一人一人がいつでも自由に手にできる!」ことこそが、大谷選手の願いと解釈しています。地域や保護者の皆様ももちろん自由に手にできるようにしますので、遠慮なくどうぞ学校にいらしてください。(紛失等のないように管理は厳重にします!)



学校と地域の皆様とのハイブリッドでこれからもがんばります！ 合唱部から、感謝のクリスマス・プレゼント!!

12月23日（土）村山市民会館大ホールを会場に、恒例の楯岡小合唱部「クリスマスコンサート」を行いました。合唱部活動は、これまでは学校教員の指導が中心でしたが、中学校部活動の地域移行と同様に持続可能な活動を目指し、今年度始めより保護者会の皆様を中心となって、新体制づくりを模索してくださいました。その間、合唱部の子供たちは6年生が中心となり練習に励み続けました。すると本校卒業生で合唱部OGの一人が指導者として手を挙げてくださり、合唱部指導に深く携わってきた本校元職員や現合唱部保護者らも指導や運営側に加わってくださいました。その後も次々と合唱部OB・OG等の支援の支援をいただき、約半年で地域移行の形がほぼ整い、当日を迎えることができました。

当日は、中・高校生を始めたくさんのOB・OGたちも応援に駆け付けてくださり、クリスマスソングやコンクール曲の他、唱歌メドレー「ふるさとの四季」などを歌い上げました。会場の皆様からはたくさんの拍手と励ましの声をいただきました。これからも末永く楯岡小合唱部の歌声が届けられますよう、地域・保護者の皆様の応援をよろしくお祈りします。



広島の被爆体験談を直接お聞きしました。 平和を創るのは一人一人の願いと行動力！

1月17日（水）6年生は社会科歴史学習の一環として「公益財団法人 広島平和文化センター『広島平和記念資料館』」より被爆体験伝承者 中本美鈴さんをお招きして、被爆体験談を通して広島に投下された原子爆弾の恐ろしさについてご講話をいただき、平和の尊さについて考えました。11歳で被爆した瀬越睦彦さんという男性の体験談を写真やイラストを用いて原子爆弾が投下された8月6日朝の様子を詳しくお聞きしました。中本さんは戦争や争いごとは「人の命はもちろん、人の優しさや思いやりを奪うこと」であること、「平和は一人一人が創っていくもの」そして「世界を変えられるのは一人一人、あなた自身である！」と力強く教えてくださいました。

今年度は特に創立150周年記念の年の6年生として、9月の「修学旅行」では会津・置賜を訪ね、江戸から明治、大正、昭和時代などの歴史を学びました。10月には「被爆ピアノ」の演奏もありました。そして現在、歴史学習で太平洋戦争の時代を学んでいます。知識だけでなく、生きた歴史学習を重ねています。今、この平和な時代。「何気ない日常の幸せは、多くの先人たちの尊い命、工夫や苦勞、努力、計り知れない悲しみや苦しみがあってその上に成り立っていること」を感じて欲しいものです。



お知らせとお願い

今年度の「離任式」行いません。

標記のとおり「離任式（離任する教職員とのお別れ式）」を行わないこととしました。次年度以降も同様とする予定です。これは全体的に増えつつある動きであり、市内では、昨年度から既に1校が実施済であることを申し添えます。有意義な春休みをお過ごしください。

- 従来、年度末休業中の3月末日近く（参考：親世代の多くの皆様が小・中学生の頃は、新年度4月3日前後）に実施してきました。今年度の年間行事予定において3月27日（水）としてお知らせしています。しかし、昨今の様々な事情等を勘案し、これまで関係の皆様方と検討を重ねてきた結果、以下の主な理由及び対応により、今年度の「離任式」を実施しないこととしました。次年度以降も同様と考えています。年度の途中での変更となり大変申し訳ございません。ご理解とご協力をお願いします。

- 【理由】**
- (1) 「離任式」は年度末休業期間中であり、「登校日」としてはカウントしていない日である。
 - (2) 新しい登校班で登校し、安全確保を図ってきているが、個々に様々な事情もあり、その機能が十分果たせていない場合もある。また、通常と違う時間帯での登校、下校のため、安全確保への懸念もある。
 - (3) 全国的に、今年度60歳を迎える教職員の定年退職が61歳に延長（さらに次年度以降順次1歳ずつ延長）されたため、今年度は定年退職者がいない。
 - (4) 年度末の教職員異動情報は、山形県職員及び村山市職員共に、最終確定は3月下旬～末日である。
- 【対応】**
- (1) 全校児童の最終登校日である3月15日（金）の「修了式（全ての学習を修める式）」は、全ての児童と教職員がお互いに「別れ」を惜しみ、これまでの「感謝」を表す意味合いをもたせた式として実施する。
 - (2) 例年、離任式後に、新年度最高学年の5年生に、教室移動を始めとした新年度体制づくりをがんばってもらっていた。これらのことは、年度内の登校日中に、全校体制で計画的に実施していく。
 - (3) 「教職員異動のお知らせ」は、県教職員は新聞等の情報が最も早く、その後、市教職員の情報が整い次第に「学校だより」掲載の本校ホーム・ページでお知らせする。異動者からの「メッセージ」も添える。
 - (4) 児童等からの「メッセージ」等は、必要に応じて寄せていただけるように、QRコード、Google フォーム等を活用して行う予定であることも申し添える。



立春 2/4、雨水 2/19

2月の行事予定

日	曜	給食	関係行事
1	木	○	
2	金	—	午前授業(弁当なし) 令和6年度入学児童「一日入学」
3	土	—	サンキューパーティ(6学年行事)
4	日	—	
5	月	○	職員会議⑫
6	火	○	音楽集会
7	水	○	木曜日課 午前授業 市内教職員研修(午後)
8	木	○	水曜日課 フッ素洗口 児童会委員会活動 パワーアップ運動～15日朝まで
9	金	○	PTA会計監査・総務委員会②
10	土	—	
11	日	—	建国記念の日
12	月	—	振替休日
13	火	○	月曜日課
14	水	○	フッ素洗口
15	木	○	児童会引継ぎ会
16	金	○	創立150周年記念(児童会主催) 「楯小キッズフェスティバル(仮称)」

日	曜	給食	関係行事
17	土	—	授業参観、学級懇談会、PTA・育成会合同研修会 PTA評議員会②、育成会全員協議会②
18	日	—	
19	月	—	振替休業日(2月17日分)
20	火	○	学期末短縮 自動車文庫
21	水	○	学期末短縮 フッ素洗口
22	木	○	校外子ども会(新通学班編成)
23	金	—	天皇誕生日
24	土	—	
25	日	—	
26	月	○	
27	火	○	
28	水	○	フッ素洗口
29	木	○	交通指導員さんへの感謝の会

【参考】3・4月の主な行事予定 (1/22現在)

- 3/ 1 (金) 6年生への感謝の会
- 15 (金) 修了式 (1～4年生年度内最終登校日)
- 18 (月) 卒業証書授与式 (5・6年生登校日)
- 19 (火) ～年度末休業
- 4/ 6 (土) 新任式、始業式、入学式 (弁当なし)
- 8 (月) 振替休業日 (4月6日分)
- 9 (火) 午前授業 (弁当なし)

現在のところ、村山市内の「入学式」は、**小学校**が6日（土）で振替休業日を8日（月）、**中学校**は8日（月）の予定で調整中です。本校では、新5・6年生の出席（弁当なし下校）を予定しています。